

ヨミネスしばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

園芸振興で暮らしを豊かに美しく



第143号

発行/新発田市議会
編集/議会運営委員会



県立新発田商業高校商業クラブの実店舗「ふくら」(令和4年3月12日)
前列左から、遠藤優月さん、渋谷柗さん、鶴間心さん、狩野透子さん。後列左から、土田朝香さん、土井彩寧さん。

園芸振興で暮らしを豊かに美しく

新発田市は生産額ベースで全国上位になるほどの巨大農産物供給地です。コメあまりが続く中、市では園芸作物の拡大に力を入れています。頑張っている市内園芸農家を訪ねてみました。



菊池ファーム 菊池慎司さん・美咲さん

親子で花を繋いだ50年

カーネーションの切り花（30a・ハウス15棟＝年間約30万本で県内最大）の他、水稻栽培（3.5ha）、米の採種田（4ha）も行っており、両親・妻の美咲さんと一緒に家族で農業に取り組んでいる。主な販売先はJA北越後や直売所「こったま〜や」、ECサイト「JAタウン新潟」など。

Q1.就農の経緯を教えてください。

新発田農業高校生産技術科を卒業後、農業大学校、農業技術学院で学び、農業普及指導センターで臨時職員として2年半畜産、作物、園芸を経験し、その後就農しました。妻は東京の大学時代から約10年花の教室に通い、大手生花店で婚礼装飾に8年従事、現在はSNSインスタグラムで農場の発信活動や特技のフラワーアレンジメント、ハーバリウムなども手がけて、「こったま〜や」などで販売しています。



Q2.カーネーションの魅力は。

品種や色の多様性です。ない色がないと言っていいほど、様々な色の種類があります。カーネーションというと母の日のイメージが強いですが、新潟県では6月頃から12月頃まで収穫できるのでお盆や彼岸の供花としてもよく使われます。どんな時でも、何にでも合うのがいいですね。また花びらや花粉が飛び散らず匂いも控えめで花もちが良いのも特徴です。



Q3.将来の夢は

カーネーション以外の花も作ってフラワーアレンジや花の加工品等の販路を広げたいです。またいつか趣味のガーデニングでオープンガーデンができるような庭を作りたいです。

笑顔がとっても素敵な菊池さんご夫婦でした。この優しさや絆がきっといいカーネーション作りに繋がっているのでしょう。今後の菊池さん夫婦の活躍に期待大です。

そうえん農場 下條莊市さん・聡郎さん・由佳里さん

白いいちご「えちご美人」は大人気

経営面積は食糧米27ha、飼料米・枝豆類3ha。イチゴハウスが約100坪。米の販売先はJAと卸がほとんどでネット直販はコシヒカリ、新之助のみ全体の5%程度。「越後姫」「えちご美人」は約90%がネット直販。枝豆「大峰かおり」はネット販売や普及会、菓子店へ出荷。法人代表の長男夫婦と会長の莊市夫妻のほか、正社員2名で6人体制。繁忙期にはパートを雇用。

Q1.就農の経緯は。

42歳までは農協に勤務しながら家業手伝い程度でしたが、離農者が増加する中、受託を増やし規模拡大。専門化してから25年になります。

Q2.販売方法の工夫は

どうすれば付加価値がつくかを考え、ホームページを開設し「特別栽培米コシヒカリ」をネット販売しました。「越後姫」や白いいちごの「えちご美人」も順調に売れており、ほかに手作りジャ

ム、在来種久保なすの一夜漬けなどが好評です。

Q3.将来目標は

法人としては売上増が目標。コロナ禍、ウクライナ情勢、SDGs、クリーンエネルギーなど時代に対応した農業を常に考えています。



趣味の写真を活用して近郷では先駆けとなるネット販売を始めた下條さん。全国に固定客がいますが、それでも現状に満足しないで常に先を見据えている姿勢が印象的でした。



高田農園 高田和直さん

Uターンを機にアスパラ栽培を本格化

10年前のUターン後、アスパラ栽培面積を順次拡大。(ハウス12棟60a、露地が20a)。味噌製造なども行う株式会社代表の和直さんと20代の正社員、パート最大7名、稲作メインの父で運営。主な販売先は地元スーパー(ウオロク・原信・イオン)や直売所のほか、ネットを中心にほぼ全量直販。

Q1.就農の経緯は

日体大で教員免許を得て、飲食店などでアルバイトをしながら養護教諭を目指しました。帰郷後も採用はなかなか厳しく「さわやかルーム」での勤務を行いつつ父親経営の会社に入社。アスパラ栽培を強化しつつ栽培面積を拡大してきました。当初は露地栽培だけでしたが、新発田産アスパラは需要も安定しており、米からの転作でハウスを順次増築し規模拡大を行ってきました。



Q2.アスパラ栽培について

現在は若者を常勤雇用して組織化しています。アスパラガスは親木を建てる立茎栽培によって3月下旬から10月上旬くらいまでと収穫期が長く、片付けや準備は年間を通じて作業があります。法人組織で雇用環境を整備しており、若い営農希望者には是非就農していただきたいと思います。

Q3.将来の夢は

この先10年で社員の雇用をすすめ、規模拡大によって法人全体で売上高1億円を目指すことです。収穫ロボットが開発できれば導入し、収穫量を増やしたいと思います。

経営ビジョンをしっかりと持っているのが印象的な和直さん。お父様が設立した法人をアスパラで発展させつつ新発田ブランドを更に高めてくれています。

いちご栽培 竹井伸嘉さん

1ターンで新規就農3年目

東京出身の竹井さんは、奥様の出身地である新発田が縁で1ターン。450坪に4棟のハウスで、いちご「越後姫」を栽培。ご本人は市内の自宅から通い、朝6時半から夕方4時まで就農。繁忙期は友達など5人のパートさんに手伝ってもらう。販売は直売所がメインで、奥様が経営しているカフェ&バーSUN.coでも収穫したいちごをメニューに取り入れ販売もしている。



Q1.就農の経緯は

私は農業経験がまったくなく素人でした。新規就農をめざし農業フェアに参加後、農業大学校で1年間学び、栽培農家の本間さんの下で修行しました。独立して今年で3年目になります。栽培指導はもちろんですが、仕事や生活全般でたくさんの人との関わりがあり、常に優しく気にかけてくれる先輩の存在は大きいです。新発田は「程よく住みやすいまち」ですね。



Q2.こだわりは

栽培管理には苦勞がありますが、師匠の本間さんから学んだ「他とは違う栽培法」で味にはこだわっています。令和3年に県の施設園芸立毛品評会いちご部門で表彰されたことはうれしく励みになりました。

Q3.将来の夢は

近いうちハウスをもう1棟増築したいと考えています。人が来やすいところでいちご狩りができる観光農園を開くことが夢です。

同じ経営者として共に支え励ましあっているご夫婦が素敵だなと感じました。「いちご園」ができて自慢の美味しいいちごを堪能できる日を楽しみにしています。

面積単位メモ：宅地や農地、メートル法で単位が使い分けられています。

10m四方の面積≒100㎡(平方メートル)≒1a(アール) 10a(アール)≒300坪(つぼ)≒1反歩(たんぶ) 10反歩(たんぶ)≒1町歩(ちょうぶ)≒1ha(ヘクタール)

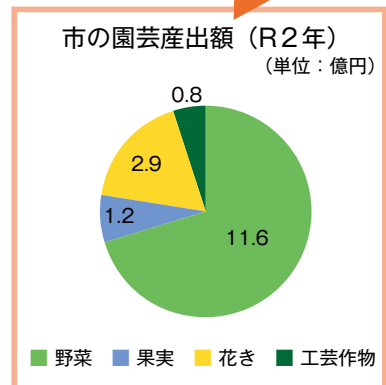
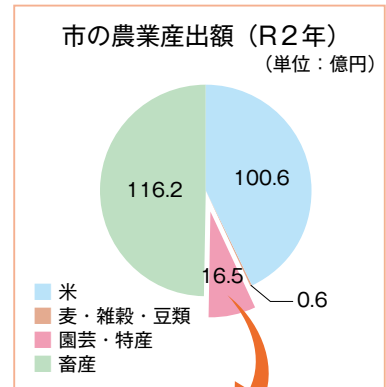
園芸振興に対する取組み

当市の農業は稲作が中心で、農地を集約しての大規模化が進められてきました。国の生産調整の終了、コメの消費低迷の中で米価の連続下落など米作農家には厳しい状況があります。農業の産出額を伸ばしていくには、園芸を取り入れた複合経営が求められます。

● 市の取組み

市は地域産業を担う農業者の確保と育成のため、農地の流動化や農業者の組織化、法人化に取り組んできました。アスパラガスをはじめ、重要品目の生産拡大支援や首都圏への販売を促進。中山間地域では鳥獣被害対策、耕作放棄地対策として健康農産物の栽培に取り組んできました。

年	市の主な取組み	内容
平成 16 年	アスパラガスの出荷量が県内 1 位に	
平成 19 年	「食のアスパラ横丁、味めぐり」スタート	
平成 23 年	アスパラガス生産拡大支援事業開始（～H28）	アスパラガスの新植（増反）・改植に支援
平成 24 年	新発田野菜ブランド化拡大支援事業開始（～H28）	県内で上位シェアを占める品目（いちご越後姫、オクラ、ネギ等）の支援
平成 25 年	強い農林水産業づくり支援事業開始	アスパラガス、いちご、果樹等に支援
	アスパラガス「ふとっパラ」の販売開始	新発田産極上アスパラガスのみを「ふとっパラ」と命名
平成 26 年	アスパラガス「ふとっパラプレミアム」の販売開始	70g 以上の幻のアスパラガスを「ふとっパラプレミアム」として販売
平成 28 年	新発田市農村マスタープラン改訂	
平成 29 年	アスパラ等新発田野菜・果樹拡大支援事業開始（～R 2）	果樹 5 品目（おうとう、いちじく等）を支援対象に追加
令和 2 年	新潟県園芸振興基本戦略に係る「新発田・聖籠産地育成計画」の策定	令和 6 年度までに土地利用型品目・ブランド品目の合計販売額 1 億円増を目指す
	新型コロナで影響を受けた花き農家への支援	
令和 3 年	園芸産地サポート事業開始	「アスパラ等新発田野菜・果樹拡大支援事業」を名称変更し拡充
令和 4 年	大粒越後姫「姫てまり」のブランド化	



● 議会の取組み

議会は、園芸振興に関し、市民の請願に答える形で国に意見書を提出してきました。市の園芸振興に対し、視察研修等で見識を深め、代表質問、一般質問、委員会質問などで市を質し、必要な提案を行ってきました。

年	議会の主な取組み	園芸等に関する質問（H23.3.1～）	主な質疑の概要等
平成 23 年	鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書の採択		
平成 24 年	農業振興拠点施設整備事業（委員会視察研修）	一般質問 20 回	園芸基本戦略について 国の生産調整廃止について 園芸振興について
	TPP 交渉参加に向けた協議の中止及び交渉参加反対を求める意見書の採択	会派代表質問 4 回	国連「家族農業の 10 年」について 園芸振興支援事業について
平成 27 年	市の有機農業関連施設の現状について（委員会視察研修）	経済建設常任委員会 16 回	新規就農支援・青年就農支援事業について 園芸品目のブランド化の構築について
	6 次産業化支援事業の取組みについて（委員会視察研修）	特別委員会 10 回	後継者・小規模家族経営の支援について アスパラ生産拡大支援事業について
	農協改革をはじめとした「農業改革」に関する意見書の採択	委員会視察研修 4 回	アスパラ作付面積の減少の要因・対策について 原油高騰対策について
平成 30 年	農業の 6 次産業化の取組みについて（委員会視察研修）		コロナ緊急経済対策として花き農家支援について
令和 3 年	予算・決算審査特別委員会で後継者問題を集中審議	意見書提出 3 回	

※意見書は新発田市議会の総意として国に提出



市支援対象品目販売量・販売額の推移

品目	令和3年販売量 (t)	推移 (H28 ~ R3年)	令和3年販売額 (億円)	推移 (H28 ~ R3年)
アスパラガス	102		1.3	
いちご越後姫	209		2.8	
ネギ	339		1.1	
サトイモ	265		1.1	
ブロッコリー	142		0.4	
タマネギ	272		0.2	
キャベツ	235		0.2	
えだまめ	27		0.2	
合計	1,591		7.2	

※ JA 北越後取扱い実績 (集計期間：1月～12月)

1月 臨時会

緊急経済対策事業ほか

- 緊急経済対策事業・燃油価格高騰対策緊急支援事業

<経済建設常任委員会>

市内小売店・飲食店等事業者の支援のためプレミアム商品券・飲食券を発行します。

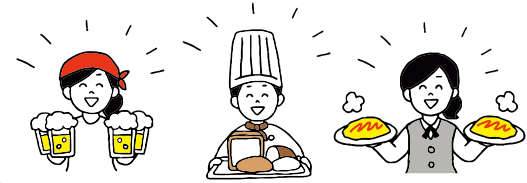
市内宿泊業者等の支援のため宿泊・日帰り旅行代金の割引キャンペーンを行います。

燃油高騰により経費が増加している水稻農家及び施設園芸農家を支援します。

まん延防止等重点措置に伴う協力を交付します

- 感染症拡大防止協力金交付事業

本年1月21日から2月13日までの間に営業時間の短縮や酒類の提供禁止等の要請に協力した飲食店等に対し、協力金を交付します。



1月臨時会



2月定例会

主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

1月臨時会	議第84～86号	新発田市一般会計補正予算第14～16号	全員賛成
2月定例会	議第88号	新発田市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	賛成多数
	議第98～115号	公の施設に係る指定管理者の指定について(計18件)	全員賛成
	議第129号	新発田市一般会計補正予算第19号	賛成多数
	議会第9号	新発田市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	全員賛成
	議会第10号	ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議	賛成多数
	議会第11号	インターネット上の人権侵害事件に対し速やかな措置を求める意見書	全員賛成
	議会第12号	最低賃金の改善と地域経済の回復を求める意見書	全員賛成

主なものをご報告します。

2月 定例会

まん延防止等重点措置に伴う協力金を交付します

- 感染症拡大防止協力金交付事業

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 時短要請等の対象店舗の状況は。

A 時短要請等助成金の交付見込みを400店舗程度と想定。大体7割から8割ぐらいは休業されているように感じている。国道7号沿線のチェーン店は休業があまり見られず、9時以降はテイクアウトに切り替えるなどの対応が多い。

浸水対策として排水ポンプ車を購入します

- 財産の取得(排水ポンプ車)

2年連続で発生した床下浸水や道路の浸水対策として排水ポンプ車を導入します。



写真はイメージです

コミュニティバスでキャッシュレス決済が使えます

- 新発田市コミュニティバス運行及び管理に関する条例の改正

<総務常任委員会での質疑>

Q スマートフォンでも利用できるか。

A キャッシュレス決済の方法は専用ICカードとスマートフォンの2種類です。
スマートフォンでの決済は、専用アプリをダウンロードして利用します。



蔵春閣を一般公開するための整備を行います

- 蔵春閣移築関連事業

<総務常任委員会での質疑>

Q 供用開始の時期は。

A 令和4年度に事業が完了し、令和5年度から供用開始となります。



保育士・児童クラブ指導員等の処遇改善を実施します

<総務・社会文教常任委員会>

国が保育等の処遇改善のための財源措置を行うことから、当市においても公立保育園・幼稚園、私立保育園・認定こども園の保育士、児童クラブの指導員の給与を令和4年2月分から約3%引き上げます。



私立保育園・認定こども園の運営に対する「特別委託料」の現状維持を求める陳情書

<社会文教常任委員会での討議・討論>

- ・新年度予算に計上され、願意は成就、反対。
- ・段階的な削減による対応が必要、1、2年現状維持を図ったうえで、賛成。
- ・園側、市側それぞれの主張は理解できる。これまで苦勞してこられた私立園に対する仮称新発田版子育て支援金を市長に求め、賛成。
- ・子どもたちの未来のためにしっかりした制度とするための議論を進めてもらいたい、反対。

令和4年度一般会計歳入歳出

当初予算と併せて前倒しの補正を編成、事業効果の早期発現と財源の確保を見込んだ積極型予算となっています。

4つの柱の主な施策を紹介します。

健康長寿

歯科健診・予防事業

う蝕、歯周疾患予防のための歯科健診・フッ化物洗口・塗布を継続し、「歯つらつ健口事業」を新たに実施

少子化対策

2歳児保育料無料化

国に先駆け2歳児の無料化を実施。それに伴う財政負担は、他の事務事業見直し等により捻出

産業振興

オーガニック SHIBATA プロジェクト

有機栽培などのオーガニックによる取組みを起点として高付加価値・ブランド化を図り、輸出拡大にもつなぐ

教育の充実

しばたの心継承プロジェクト

子どもたちの、しばたへの愛着や誇りを育み、どこにいても故郷を思い続け、活躍する人材を育成

議員間で意見を交わした「自由討議」の内容です

ゼロカーボンを含む 環境問題

- 当市は小水力が適地と思う
がいかがか
- 宣言した割にあまり予算として上がっていない。税を
独自で軽減していくことも
含め、広く市内全般で検討
- 焼却場のエネルギーを電力
に換わりサイクル施設を
- LEDや電気自動車の普
及などの形を先に進めて
いった方がよい
- 取組みの周知を図ることが
大事



子育て支援 (私立保育園特別委託料)

- 今回の予算で私立保育園運
営特別補助金として計上され
たことについて
- 用途を明確にすべき
- 私立園は運営費に難儀して
いる。必要な経費の積み上
げを
- この一年かけて制度設計を
すべき
- 必要なところの状況に合わ
せて制度の移行を
- 制度設計の様子をみるべき



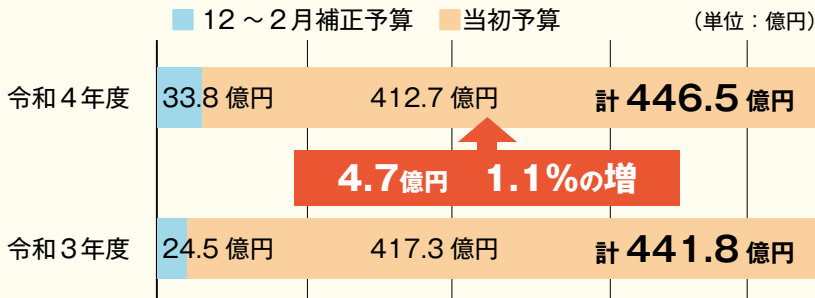
オーガニック米について

- 「19アールの計画だがおいしい米を
作り一粒の単価を上げるべき」の意見
に対して
- ⇒今までもおいしい米は目指してき
た。オーガニックだからおいしいの
ではない。新たに目指すのは輸出来
による農家の底上げでは
- ⇒反収を上げずに付加価値のつくオー
ガニック米を輸出することで米あま
りや耕作放棄地の緩和、中山間地の
元気復活につなげる
- ⇒ある程度の俵数があがる地質を作ら
なければ米はまずい。付加価値をつ
ける生産は良いと考えるが単純では
ない。現場で体験を



予算を審査・可決しました

令和4年度は当初と前倒し補正の16か月予算



一般会計

予算審査特別委員会

【委員長】 石山 洋子

【副委員長】 中野 廣衛

宮崎 光夫 水野 善栄

五十嵐良一 板倉 久徳

小林 誠 入倉 直作

渡邊 葉子 佐藤 真澄

市長と一問一答 市長総括質疑

Q 蔵春閣について。隣接する施設などといい関係となる必要があるかと考えるが

A 新発田歴史文化プロジェクトの皆さんが月1回門前町構想について検討会を開いている。新発田市行政からも参加し、一緒になって議論に加わっている。

Q 直営で管理運営するという話もあるが、駅前全体を整理して民間で行った方がよいのでは

A 営利目的ではないこと、文化財でもあることからしばらく直営としたい。頃合いを見て民営化の検討も行いたい。



Q 新発田市長として一刻も早く「核兵器禁止条約に関する日本政府の対応について」要請を行うべき

A 今のウクライナの情勢をみるとスピード感が求められている状況だということはまったく同感である。要請文を用意したので、早速、実行・行動に移したい。

Q 長引く新型コロナウイルスの影響で米あまりや米価下落、生産調整も進められ、米農家は厳しい状況にある。市として何らかの手立てを打つべき

A 農業は市の基幹産業であり、その浮沈は市の経済にも大きな影響を与える。価格補償、税で補てんとなると慎重になる。燃油代の補てん、オーガニック、輸出米といった側面支援、後方支援したい。

Q 国のコロナ対応臨時国庫交付金を活用しては

A ほかの感染症対応ができないくらい費用がかかる。国の追加があれば検討したい。

Q 台輪本体の修繕は補助があるが、それに関連したちょうちんやはっぴの劣化について自助努力だけで難しい状態。お祭り予算での対応はいかがか

A 過去に運行ルールが守られず祝い金を減らしたことがある。最近ではルールも守られ、

様々な行事でご協力をいただいている。祝い金を以前に戻したい。



討論

令和4年度一般会計予算について、賛成・反対の意見を述べています。

反対

日本共産党 加藤 和雄

市政に求められるのは社会保障の削減やコロナの影響から市民のいのちとくらしを守ること。感染者、濃厚接触者、医療機関へ支援すべき。米価下落や水田活用交付金の見直しの影響があり、農業振興策が求められる。蔵春閣事業、国保税の引上げはすべきでない。

賛成

令和会 五十嵐良一

令和4年度実質予算規模は1.1%増の積極財政で、特に2歳児保育料及び児童クラブ利用料無料化やこども運動広場整備などは、女性の社会進出をサポートする施策であり更なる拡充を望む。今後はウィズコロナ、ポストコロナを見据えた産業振興の取り組みが必要。

賛成

公明党 渡邊 喜夫

がん検診に胃がん発症リスク早期発見のためピロリ菌検査を加え評価。産後ケア事業にデイサービス型と訪問型を新たに設置、宿泊型も増額し充実。高齢者向けeスポーツは認知症予防に期待。ロシアのウクライナ侵攻は市民生活に影響、財政調整基金の対処が必要。

賛成

共道しばた 三母 高志

ウクライナ情勢を受け核兵器禁止条約締約国会議への日本政府のオブザーバー参加要請は高く評価。コロナ感染症対策は引き続き検査や予防の取り組みを進めるべきである。また一部過疎指定を受けるが財政と施策の検証の上、人口減少対策の実施を前提に賛成。

賛成

無所属 小柳はじめ

①実体経済は厳しく税収が増えたのは「まぐれ」②戦略的な産業振興策があまりにショボい③市外転入者向けに多大な実績を残した家賃補助金をなぜ止めるのか？等問題点は多々あるが2歳児保育料や児童クラブ無料化、屋内運動場整備など子育て支援策は評価する。

賛成

つなぐ会 中野 廣衛

次代を担う子ども達への投資として、2歳児保育料や放課後児童クラブ利用料の無料化などを目玉に、オーガニック関連の有機農業産地づくり事業を始めとした農業施策、商工振興、健康長寿アクティブプラン推進事業等での新規事業取組みに期待と思いを含め賛成。

反対

無所属 青木三枝子

ゼロカーボンへの道筋が見えない。農業振興に欠ける地産地消エネルギー利用と農福連携。森林環境譲与税を雇用と収益確保に繋げるべき。デジタル化が社会保障費削減や市民サービス低下を招く。新潟新発田間増便と西新発田駅利便性向上への取組み不足。

8つの特別会計、2つの企業会計の予算を 審査・可決。主な議論は次のとおりです

【コミュニティバス事業】

- Q** 赤谷、加治川方面の計画、進捗はいかがか
- A** 五十公野赤谷線は六軒町線の見直しを中心に進めたい。加治川は、現在JRしかないところに新規で路線を敷こうと検討している。基本的には、新発田市デマンド方式。バス停の位置、ルートなど地域の意見を聞きながら進めていきたい。



【国民健康保険事業】

- Q** コロナの影響や受診控えなどによる、一人当たりの給付費への影響は
- A** 令和2年度は元年度とほとんど変わらない水準で増加した。さらに令和3年度伸びが高くなっており、1人当たりの保険給付費は増加傾向にある。



【水道事業】

- Q** 水道使用量が減り、収入が減っている。いつかは値上げせざるを得なくなるのか
- A** 令和元年6月に料金改定。4年ごとにその水道料金の妥当性を検証することとなっている。令和4年度からその料金の妥当性の検討を始める。



このほかに、特別会計には、土地取得事業、介護保険事業、後期高齢者医療、宅地造成事業、食品工業団地造成事業、藤塚浜財産区があります。企業会計は、下水道事業があります。

会派代表質問

市長おしえて！ しばたの未来は？どこへ向かうの？

代表質問とは？

主義、主張を同じくする議員で構成された「会派」の代表者が、市長の施政方針や予算編成方針に対して質問を行います。

代表質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について Q2 有機農業産地づくりについて

公明党 渡邊喜夫議員



- Q 積極的な勧奨を差し控えたことにより接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種の対応は
- A 広報、市HP等で周知し、3箇年でキャッチアップ接種の対象者全てに接種券等を送付
- Q ワクチン接種を機に検診の普及、啓発は
- A 接種券送付時に検診の重要性を周知するリーフレットを同封

- Q 当市の有機栽培農産物の現状は
- A 水稻で有機JAS認証は3戸、6.2ha
- Q オーガニックSHIBATAプロジェクトに期待される効果は
- A 食の循環によるまちづくり、輸出、高付加価値型農業、若手農業者の参入等



Q1 米価下落の下、所得補償を求めるべきだ Q2 政府に核兵器禁止条約参加を訴えるべきだ

日本共産党 宮村幸男議員



- Q 農家は米価下落で経営難だ。国に米価補填やMA米削減等求めるべきだ。市は米や野菜等を低所得者に定期支援してはどうか。
- A 国の制度は相応に整備されている。現時点では米と野菜の定期支援策は考えていないが、状況に応じた支援策を検討するよう指示した。
- Q 日本政府は、締約国会議に出席し、被爆国の現状や人道問題も訴えるよう平和宣言市

- 長として参加を働きかけるべきでないか。
- A 政府に締約国会議参加を要請することについて、平和団体と協議し考えていく。

※他に小中学校の教務と労務環境の整備について質問した。





Q1 新たな目標を携えて四期目を目指すのか

令和会 比企 広正 議員



Q 市長の任期も9ヶ月あまりだが、新型コロナウイルス感染で思うような市政運営ができず、歯がゆい日々だったこととお察しする。令和4年度は、オーガニックSHIBATAという新たなブランドを携えてニューヨークに乗り込む勢いを感じる。四期目を目指すのか。

A 四期目の市長選挙出馬の申出はありがたい

が、まずはポストコロナに向け、市民の命を守り経済対策を最優先に実施し令和4年度事業に取り組むことに専念させていただきたい。時が来たら後援会と相談し、今後の去就について検討してまいりたいと考えている。



Q1 感染症収束を見すえた産業振興推進を

つなぐ会 阿部 聡 議員



Q 4年度当初予算案で産業振興策は弱い。今後の市長の方針は。

A 一段高い階段を登らなければいけない。農業・食品加工の技術を育てたい。

Q 農業の「オーガニック推進」は単発では非効果的。観光等にも活かせないか。

A ヘルシーツーリズムとして、宿泊プランの検討も進めたい。

Q 「旧天王小シェアオフィス化」では専門的な職員育成・招聘が必要だが。

A 入居企業との調整職員が必要。研修等で養成を進める。

Q 市観光協会と月岡温泉観光協会統合による目標設定は。

A まずコロナ禍以前の入込客数を目指し、上積みできるよう取り組む。



Q1 農業問題について

Q2 協働推進について

共道しばた 入倉 直作 議員



Q 進行中の輸出米等の取組みは

A 累計で954キロで、4年度は300キロの注文だ

Q オーガニック事業での取組みで農地集積の進捗状況は

A 令和2年度末で77.3%、5年度目標の80%は達成できる見込み

Q 紫雲寺地区にコミュニティセンターの設置の考え方は

A 現段階では考えていない

Q 協働推進と人口増進のために奨学金返還支援制度の活用は

A 市独自の支援制度導入の研究と併せ、卒業後も市内に定住する敬和学園大学の学生の支援についても研究したい

※他に青少年育成、小学校統合について質問した。



一般質問

今後の生活 どう変わる？どうなるの？

一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案したりしました。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



Q1 過疎地域指定による今後について

Q2 新発田市の文化財の現状と活用について

● 板倉久徳 議員



Q 過疎地域に指定される理由は。

A 令和2年度の国勢調査の人口減少率等の要件から、旧加治川村地域が過疎地域に指定された。

Q 指定を受けることによる、まちづくりへの影響は。

A 国から財政支援を受けられ、過疎地域の持続的発展に向けて事業を進めていけるようになる。

Q 市内の文化財を多くの人の目に触れられるようにする取組みは。

A 歴史図書館で所蔵資料の展示やまち歩きを行う等、取組みをしている。



Q1 コロナ禍での学習環境の現状と課題について

● 渡邊葉子 議員



Q 休校数・休校日数と休校の際の判断基準はどうであったか。

A 小学校 = 8校、延べ39日。中学校 = 5校、延べ21日休校。「市教育委員会小中学校の休業等の基準」に基づき決定している。

Q 休業時の学習面や生活習慣面での対応はどうであったか。

A オンラインでの授業を実施しタブレット端末で双方向での生活確認等をした。

Q 発達障害・2E児等への対応にICTは活かされているか。

A 円滑な学習に有効な手段の一つと捉え活用している。





Q1 デジタル田園都市国家構想について
Q2 新潟県ヤングケアラー実態調査結果について



五十嵐良一 議員

- Q 最先端のデジタル基盤で遠隔医療体制を。
- A オンライン診療が令和4年4月から実施される。
- Q デジタル設備を完備したスペースの設置について。
- A 企業等のサテライトオフィスや起業・創業拠点を整備する。
- Q 鳥獣害防除リモート管理及びスマート農業について。

- A ICTを活用し防除作業軽減、IoT等を活用した営農推進を研究。
- Q 調査結果を受けての対応について。
- A ヤングケアラーの疑いがある児童・生徒は関係課で連携し速やかなサポートにつなげる。



Q1 「平和的な変革のためのビジョン」について
Q2 新発田市の文化芸術振興施策について



三母高志 議員

- Q 平和首長会議の行動計画の提案を受け、新発田市長として政府に核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求めているかがか。
- A 核兵器の無い、平和な世界実現は人類共通の願いだ。国へ核兵器禁止条約締約国会議へのオブザーバー参加を求めることについて平和団体と協議していきたい。
- Q 文化芸術振興を目的に地域おこし協力隊を募集しているかがか。

- A 地域おこし協力隊員導入を、市長部局と協議し検討したい。
- Q 地方文化芸術推進基本計画策定についてどのように取り組むのか。
- A 文化芸術振興の第一歩として計画検討したい。



Q1 水のみち地区の親水広場と護岸工事について
Q2 自宅療養者急増に当市ができること



青木三枝子 議員

- Q 被害が及ぶと思われる住民への説明は十分尽くされたか
- A 一部の市民からの理解が得られていないが、沿線町内会からは理解を得ている。整備は遅滞なく進める
- Q 大雨災害時に越水や冠水する恐れはないか
- A 流れに影響ないように設計してあり護岸が越水する要因とはならない
- Q 川には生活のための橋がかかっているが今

- 以上に川を塞ぐことがあってはならないと考えるが
- A 沿線居住者の生活を守ることを考慮して許可するよう指示した
- Q 臨時医療施設など、災害級の対応の行動計画立案を県に働きかけては
- A 直接知事に申し入れた





Q1 75歳以上の医療費窓口負担は中止を！

Q2 子どもの「近視」対策は

▶ 佐藤真澄 議員



- Q** 10月から実施された場合の市の影響について。
- A** 市の該当者は2,565人(後期高齢者医療制度加入者の16.4%)。影響額は令和5年度で1億3,217万円。
- Q** 国に中止を求めるべき。
- A** 国主導で決定された。要望は考えていない。

- Q** コロナ禍やデジタル機器の活用で子どもの目が酷使されている。学校での対策は。

- A** 目とタブレットの間隔を空ける、30分に1度は遠くを見る、寝る前は機器を使用しない等の指導をしている。



Q1 新発田市一部過疎地域指定について

Q2 新発田市ゼロカーボンシティについて

▶ 小坂博司 議員



- Q** 国は過疎法に基づき人口減少が著しい旧加治川村地域を一部過疎地域に指定。同法で過疎地域持続発展市町村計画を定めると国からの支援が受けられる。取組みは。
- A** 計画の策定により、交付税措置のある過疎対策事業債の発行等が可能となる。策定には議会の議決が必要なことから、可能な限り早期に取り組む。

- Q** 国は「脱炭素移行・再エネ推進交付金」事業を令和4年度より新たに実施する。当市の取組みを伺う。

- A** 脱炭素移行・再エネ推進交付金を受けるには脱炭素先行地域に選定されなければならない。ハードルは高いが取り組む。



Q1 市のブランディング戦略と歳入増について

Q2 人権侵害・差別の根絶に向けて

▶ 小林 誠 議員



- Q** シティプロモーションは各課横断的な専門チームや外部人材を活用したらどうか
- A** 今まで通りで進めたい
- Q** ネーミングライツ(命名権)の導入検討は
- A** 企業版ふるさと納税を活用し魅力発信、命名権についても検討する
- Q** 市民も原告となった部落差別事件の判決を受け、市長として毅然とした対応をすべき

- A** 市長として新潟地方法務局へ出向き、インターネットによる差別的書き込みの削除要請を行いたい

- Q** インターネットによる同事件を同和教育の中でどう活かすか

- A** あらゆる差別や偏見の解消に向け、人権同和教育を通じ進めていく





Q1 新発田市の森林資源活用策について
Q2 市における街灯・防犯灯の維持管理事業

▶ 湯浅佐太郎 議員



- Q 森林環境譲与税の今までの使途と、今後の活用策について。
- A 保安林の保全や松くい虫防除、間伐、作業道の維持管理や滝谷森林公園整備に使った。今後はSDGs 社会に向け森林保全に使う。
- Q 市内街灯・防犯灯のLED化率及び設備入替予定について。

- A 市の街灯・防犯灯のLED化はおよそ3割で、2030年までに全ての街灯・防犯灯をLEDに入れ替えたいと考えている。



Q1 コロナから市民の命と暮らしを守るために
Q2 国民健康保険について

▶ 加藤和雄 議員



- Q PCR検査等の継続的实施はできないか
- A 2月1日から市独自のPCR検査を随時実施
- Q 事業復活支援金に該当しない事業者に市独自の経済支援を
- A 市独自に売上減少事業者支援金制度を実施している
- Q 小学校休業等対応助成金・支援金制度の周知は
- A 文書、リーフレットによる周知。制度変更の情報提供を指示した

- Q 令和3年度の国保税はコロナ禍を考慮し5千円の引下げ。令和4年度は引上げられる。コロナ禍での引上げはすべきでない
- A 令和4年度の国保税は税率配分の適正化を図ることで、高所得者には増額、低所得者には減税となると試算



Q1 続々教育委員会の事なかれ主義と組織的問題
Q2 空き家対策問題は危機感を持って挑む段階だ

▶ 小柳はじめ 議員



- Q 個々の職員は良いが組織となると問題山積だ
- A 人との関わりや支え合いを充実させるのがリスペクトでありそのような組織運営を心がけている
- Q 5年前の男子中学生いじめ自殺事件で裁判所主導の和解協議になぜ応じないのか
- A 先日結審したが裁判中のため答えられない
- Q 新潟工高の同種事件では謝罪と再発防止で和解の方向だがこの差は

- A 新聞報道でしか知らずコメントできない
- Q 固定資産税の特例見直しで効果を上げている事例や新税導入の動きもある
- A 神戸市の取組みは注視しているが人口等事情が違う。当市に合致した方策の研究は始めたい



ロシアによるウクライナ侵略を 非難する決議を可決しました

我が国を含む国際社会の度重なる警告にも関わらず、2月24日、ロシアは大挙してウクライナへの侵略を開始した。この暴挙は何の罪もない多くの民間人を犠牲にし、ウクライナ全土を恐怖と悲しみと欠乏とで覆い尽くすものであり、断じて許されるものではない。

また、ウクライナの主権及び領土の一体性は、ロシア軍の蹂躪によって著しく侵害され、このことは、明らかな国連憲章違反であり、国際社会の秩序を根幹から揺るがしかねない極めて深刻な事態である。

加えて、新発田市及び新発田市民は、世界のすべての国が核兵器などの武力から解放され、平和な国際社会を築くことを希求する「核兵器廃絶平和都市」であることを宣言した。

しかしながら、この度のロシアによる武力行使はこうした理念をないがしろにするものであり、新発田市と新発田市民を代表する当新発田市議会はロシアの侵略を最も強い言葉で非難する。そして、ロシアに対し直ちに攻撃を停止し、部隊を撤収するよう要求する。

政府におかれては、現地在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、日本国憲法が掲げる平和主義のもと、国際社会の恒久平和を世界に訴えつつ、速やかな国際平和の実現のため、国際社会と連携し、ロシアには制裁などの毅然たる態度で臨み、ウクライナに対しては人道支援を迅速に行うよう要請する。以上、決議する。

令和4年3月11日

新潟県新発田市議会



請願・陳情の処理経過及び結果

議会で採択された請願や陳情について、その処理経過や結果について、14件の報告がありました。そのうち、2件についてお知らせします。

請 願

件 名 第3次勧告の完全履行により
悪臭発生を止める措置を求める請願書

採択年月日 平成30年3月13日

[処理経過の概要](#)

令和2年8月に市は敷料管理と立入検査を強化した「第4次改善勧告」を発令した。令和2年の秋・冬は勧告を履行できない状況であったが、令和3年の春・夏は、市・県指導の効果により、悪臭防止法の規制値を超える回数が大幅に減少した。



住民に対しては、検討委員会や住民説明会を開催し、意見交換を実施。事業者においては、県の指導に基づき、排気口側シャッターや電柱ネットでのミスト噴霧装置を設置し、併せて敷料やもみ殻が不足しないよう敷材を十分確保し、臭気を発生させない対策を整えている。

陳 情

件 名 「蔵春閣」の附帯施設整備への早期着工と
一体的な利活用の早期実施に向けた陳情書

採択年月日 令和3年9月21日

[処理経過の概要](#)

附帯施設早期着工の陳情を受け、財源として有利な国の交付金の活用が見込まれることから、国への申請を行うとともに、附帯設備建設に係る予算を令和4年2月定例会に上程した。補正予算の成立及び国の交付金の交付決定の後に工事発注、令和5年3月の整備工事完了を目指す。



市民に対しては、蔵春閣移築事業説明会を開催し、移築工事の進捗状況の説明や利活用方法について市民意見を募るアンケート調査を予定していたが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から開催を延期した。

キャラクター『あやめちゃん』に決定!

たくさんの方からキャラクターが寄せられました。ご応募、ありがとうございました。



採用作品

あやめちゃん

「しばた市議会だより」の案内役として議員の皆様と市民の皆様を繋ぐ橋渡しのような存在になればいいなあ♪

チャームポイントは

- ・あやめの髪飾り
- ・ぱつん前髪
- ・足袋ブーツ

好きな食べ物は
新発田の和菓子♥

新発田市の花である「あやめ」と市章の「五階菱」を取り入れたデザインを考えました。



吉川 千遥さん

「新発田市在住で、この4月から市内のこども園に勤めています。議会報には毎回目を通していて、もともと絵を描くことが大好きだったので、少しでも地元の役に立てれば、と思い応募しました。着物をミニにして「現代風」な雰囲気に仕上げました。」

次点作品

あやめひめ



新発田城に住むアヤメのお姫さまです。新発田市の花であるアヤメをメインに、市の木であるサクラを添えてデザインしました。



遠藤 希さん

「『ヨミネス(議会だより)』を見た先輩が、絵を描くことが好きな私に、応募してみたら、と勧めてくれました。新発田の花のあやめや、加治川の桜をイメージして作りました。特にあやめの色の紫色にこだわりました。」

全議員で上位5位
までを選定
(1人5票)



広報小委員会で
採用及び次点を選定



市内外から**87点**のキャラクターを
応募いただきました。ありがとうございました!!



残念ながら、採用・次点とはならなかった作品をご紹介します(順不同)。
思いのこもった素敵な作品ばかりで、議員全員で一生懸命選ばせていただきました。
今後ともヨミネスしばた 議会だよりをよろしくお願いいたします。



研修・視察の報告



まったなしの気候危機から いま、私たちにできること

◎第6回議員政策勉強会<10月26日(火)>
気候危機のリスクと社会の大転換

講師 国立環境研究所地球システム領域副領域長
東京大学大学院総合文化研究科広域科学
専攻客員教授
江守 正多 さん

人間の経済活動で増加した二酸化炭素による地球温暖化は最新の科学的な研究成果であるIPCC報告によれば、その事実に疑う余地がない。

この地球規模の課題にどう取り組むのか。

日本には再生エネルギーのポテンシャルは十分

あるが、同時に社会の「大転換」が必要であるという。それは人々の世界観の変化を伴う転換で、産業革命など人類は同様の転換を経験している。いま大転換の出口が問われている。

新発田市のゼロカーボンに向けた取組みが大切と感じた。



市議会議員による自殺予防の ためのゲートキーパー研修

◎第7回議員政策勉強会<2月3日(木)>
こころのゲートキーパー養成講座について

講師 新発田市健康推進課職員の皆さん

新発田市では、平成23年6月に「新発田市民のきずなを深め命を守る条例」を平塚市、日野市に次いで全国で3番目に制定した。以来、官民、地域が一体となり17団体で構成する「新発田市自殺対策会

議」を定期的で開催し、自殺は個人的な問題のみではなく、その背景には様々な社会的要因があることを踏まえ取り組んできた。全国的に減少傾向だった自殺

者が、コロナ禍で増加に転じたことを危惧し、議員がゲートキーパーの研修を行った。ゲートキーパーは悩んでいる人の変化に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげる活動である。



視 察

共道しばた

松隈小水力発電所の取組みについて

1月18日(火) 松隈地域づくり株式会社



移住・定住事業について

1月17日(月) 福岡県筑後市

小柳はじめ議員 阿部聡議員 合同実施

自動運転システム「ZEN drive」について

12月16日(木) 福井県永平寺町



加賀市スマートシティ宣言の概要について

12月17日(金) 石川県加賀市

議会からのお知らせ

6月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7 本会議 (提案理由説明)	8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11
12	13 本会議 (一般質問) 議会運営 委員会	14 常任委員会 (総務)	15 常任委員会 (社会文教)	16 常任委員会 (経済建設)	17	18
19	20 議会運営 委員会	21	22 本会議 (議案等採決)	23	24	25

※請願・陳情の提出期限は6月1日です。
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

本会議を生中継しています

本会議（定例会のみ）の開始（午前10時）から終了まで中継しています。

① FM放送

エフエムしばた（76.9MHz）で生放送します。



② インターネットサイマルラジオ

右の二次元コードまたは、エフエムしばたのホームページのバナーから聴くことができます。



③ インターネット生中継

市議会ホームページで生中継します。下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会展中継」からご覧ください。



WEB議会報告会のお知らせ

6月3日（金）
19時 開始予定！

各地区で年2回開催している「議会報告会」をYouTubeでライブ配信します

【配信日時】

令和4年6月3日（金）19時から

【内 容】

2月定例会の審議内容報告（令和4年度一般会計予算審査の概要を中心に）
 当日「YouTube Live」のチャット機能でお寄せいただいた質問にリアルタイムでお答えする予定です。
 ※すべてのご意見・ご質問にお答えできるとは限りませんのでご了承ください。

【参加方法】

新発田市議会のYouTubeチャンネルでライブ配信します。あらかじめチャンネル登録をお願いします。
 ※ライブ配信は、配信ページにアクセスしていただければどなたでもご覧いただけますが、チャットへの参加にはYouTubeへのログインとアカウント（チャンネル）作成が必要になります。

※配信環境等により、急遽配信を中止したり、内容や時間の一部変更が生じる場合があります。

※新発田市議会、新発田市、他の利用者又は第三者を誹謗中傷したり、公序良俗や法令等に違反している又は違反するおそれのあるコメント、などが寄せられた場合には、すべてのコメントを削除いたします。

チャンネル登録は
こちらから



市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>



詳しくは市議会ホームページをご覧ください



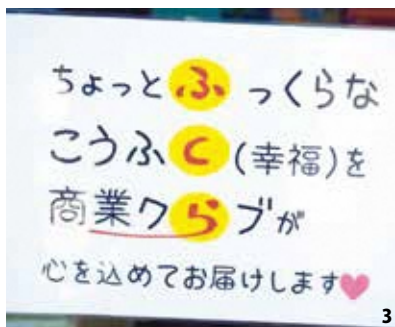


SHIBATA TOPICS

キラキラ輝く若いチカラ



起業家精神とコミュニティ能力を高めたい！



「この店は部員はもちろんですけど、先生方や町の人々の理解があって開店し、続けられています」と感謝する部長の渋谷終さん（情報処理科）



表紙写真 |

新発田商業高校商業クラブの店「ふくら」

もっと多くの人々が歩く、にぎわいある町に！

「いらっしやいませ〜」。明るい挨拶と満面の笑顔で迎えてくれる石川小路側の中村屋さん跡の「ふくら」。オリジナル菓子パンやお弁当などを販売している。運営は新発田商業高校「商業クラブ」の生徒たちだ。取材に訪れた令和4年3月12日（土）は、開店と同時に同校OBの男性が訪れ、その後も買い物客が引きも切らない繁盛ぶり。多い日には100人のお客さんが訪れるという。元々、市内のイベントなどに来店していたが、コロナ禍で次々と中止となったため、空き店舗への出店を模索していたところ、まちづくり会社「ネオハット」など、人を介して旧中村屋さん跡を紹介された。基本的に土曜日開店だが不定休あり。詳しくはHPで確認を。

新発田商業高校 商業クラブ

①商業クラブでは、部員を接客・レジ・バックヤードに分け、交代制で業務に当たっている。「お客様と接するのが楽しい」だけでなく、今は「ここに来たお客さんが近くの店にも寄ってほしい」と願っているとか。②地元産にこだわった菓子パンは部員自ら考案し、近くの「ヤマザキデイリー」で焼いてもらっている。③指導するのは川上顕宏先生。実店舗で販売することで「起業家精神とコミュニケーション能力を高めること」を期待していると言う。チラシも広告宣伝も活動の一部で、店内ポップもすべて部員手作りだ。

編集後記

コロナ禍が始まって2年、未だ収束の見えないトンネルが続いております。学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が相次ぎ、子どもたちの学習環境や生活環境への影響を心配しております。そんな中、市議会だよりのマスコットキャラクターの募集が行われました。何と78人も小・中学生のみなさんからご応募いただきました。素晴らしい作品の

数々に選ぶのももったいないくらい感動と感謝の思いでいっぱいでした。そんな子どもたちの思いに応えられるよう市議会もチャレンジを続けていかなければなりません。新年度より広報広聴委員会も正式にスタートします。新たな春のスタートです。

(文責・小林誠)

【編集委員】委員長／宮崎光夫 委員／板倉久徳・小柳はじめ・阿部聡・小林誠・加藤和雄・石山洋子